

柔道整復科

医療関係法規

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	15	単位	1	
担当教員	宮本功三			実務経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）					

授業概要

柔道整復師法とその他の医療関係法規について学ぶ。

到達目標

将来、柔道整復師として業務に従事するうえで「柔道整復師法」と「その業務や医療従事者一般として必要な医療福祉法規」を中心に、理解しておくべき法令を知る。医療人として、広い知識を身につけることを目的として、可能な限りの判例、具体例を示しながら理解していく。医療の中心は人、患者であり、その権利と医療従事者の権利を守ることも、法の精神であることを理解することがねらいである。

授業方法

法の概念とその重要性を理解する。柔道整復業務の根拠性について理解する。その他関連法規について理解する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書（関係法規-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	法の意義・体系について理解する
第2回	柔道整復師および柔道整復に関する法規について理解する
第3回	柔道整復師と患者の権利について理解する

柔道整復科

医療関係法規

第4回	医療過誤とリスクマネジメントについて理解する
第5回	免許制度の必要性を理解する柔道整復師の業と業務の差異を理解する
第6回	免許の資格要件、免許の申請について理解する
第7回	免許の登録事項・訂正・取消等について理解する
第8回	1回～7回の知識が蓄積されているか確認する
第9回	柔道整復師国家試験の受験資格と試験科目について理解する
第10回	業務・禁止事項について理解する
第11回	施術所の開設、休止等、構造設備基準を理解する
第12回	広告制限、施術所の名称制限について理解する
第13回	罰則について理解する
第14回	9回～13回の知識が蓄積されているか確認する
第15回	半期の総括